

# みんなの ひろば

雄武町国民健康保険病院 理学療法士  
まきした やすあき  
**巻下 康明さん** (日の出北町)

「希望」という形で心に残った言葉



12月から雄武町国民健康保険病院に勤務する理学療法士の巻下康明さん(38歳)。出身は札幌市。理学療法士になるため、福井県の医療技術専門学校へ入学。卒業後、東京都武蔵野市の病院で勤務する。昨年の春、久しぶりに地元である北海道へ帰郷。あらためて地元への愛着を感じ、それが転機となった。「雄武町は学生の時にツーリングで通ったことがあり、オホーツク管内の雰囲気の良いさをその当時から感じていました。今

回全くの偶然からこちらに来る事ができたのですが、来てすぐ皆さんに親切にしていただき、感謝しています」。理学療法士とは患者さんが自立した日常生活を送ることができるよう支援するリハビリの専門職であり、目指すきっかけとなったのは父だった。「私が小学生のころ、父が脳卒中で倒れ、意識のない状態で入院治療が1ヶ月弱続きました。意識は戻ることなく亡くなってしまったのですが、その時、「もし回復し

たらリハビリだね」という言葉を何度も聞きました。私にはその時「リハビリ」という言葉が「希望」という形で心に残り、20代半ばになった時に、本当に自分がやりたいことは何か、そう考えたときに理学療法士を目指そうと決めました」と振り返る。

巻下さんはこれからの抱負について「私は運動療法を中心にやってきましたので、その経験を生かせればと思っています。リハビリという患者さんが受身になりがちですが、やる気を出してもらえようように会話を大切にしながら、一緒に身体を動かすリハビリを広めていきたい。これから開設される介護老人保健施設は、自宅などでの生活復帰を目標とした施設です。その中でリハビリも重要な役割を持つと思いますので、少しでも貢献できるよう頑張りたいと思っています」と話してくれた。

クローズアップ  
まちのひと

## 教師の仕事をとことん突き詰めたい

いしかわ まなみ  
雄武中学校教諭 **石川 愛美さん**



一昨年の4月から雄武中学校に勤務する石川愛美さん(24歳)。出身は北見市。「中学生のころ歴史などの社会科に興味があり、授業を楽しく聞いていましたが、周りの友だちには嫌いな子が多く、それが悔しく感じていました。社会って楽しい教科だよってことを伝えたい。そう思ったことが教師を目指したきっかけです」。

現在は2学年の生徒を受け持ち、多忙な日々を過ごします。「雄武町は祖父が教師生活を送った場所であり、母の出身地。何かと縁がある土地だと感じています。担任としてクラスを受け持っています。行事などいろいろ

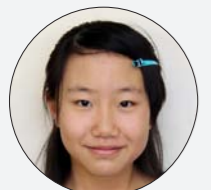
いなな取組みを通じて、生徒の成長を感じた時にこの仕事をしていてよかったと思います。教師としても、まだまだ未熟なので、いろんなところに行ったり、いろんなものを見たりして教科書に載っていないことでも伝えていけるようになりたいです。生徒が何も言わなくても気づくことができる教師になりたい。とことん教師という仕事を突き詰めていきたいです」と話してくれました。

♡好きな男性のタイプ  
しっかりしている人

♡特技  
硬式テニス

♡趣味  
ハムスターと戯れること

## 小さな美術館 豊丘小学校



山田 嘯洋さん (5年)



↑ 「動物いっぱい」



高見 優奈さん (6年)



↑ 「海の生き物」



天間 有紀さん (6年)



↑ 「青い空」



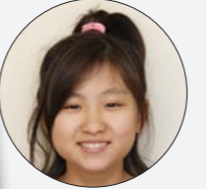
↑ 「太陽がのぼる」



天間 梨南さん (5年)



↑ 「シーザアニマルズ」



村田 菜理さん (5年)

## わんぱくキッズ



やすだ はるか



いけだ もねちゃん



くにい かけるくん

おおきくなったら  
～若草保育所～

宇宙飛行士

モデル

ハリケンレッド